



無事故ドライバーをめざして（1）安全走行の基本

今月から3回にわたって、無事故ドライバーになるためのいろいろな知識をクイズ形式で確認していきましょう。今回は「安全走行の基本」です。

安全走行の基本

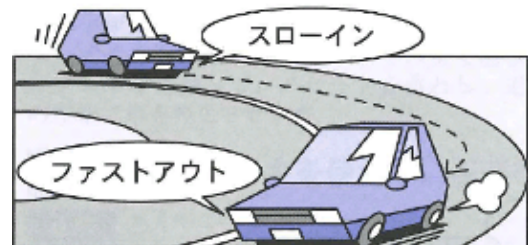
安全走行のための基本的事項に関する次の設問について、正しいものには○、間違っているものには×をつけてください。

- 問1 カーブを走行するときは、カーブの手前で十分に減速しカーブの途中ではブレーキ操作をしないようにする。
- 問2 長い下り坂で減速するときは、おもにフットブレーキを使う。
- 問3 緊急の場合以外は、ブレーキは数回に分けて踏むのがよい。
- 問4 踏切内では、発進したときの低速ギアのまま通過し、途中で変速しない。
- 問5 坂道ですれ違うとき、上り下りいずれかの車が停止しなければならない場合は、上りの車が停止する。

1. スローイン・ファストアウト

正解 ○

カーブ走行の基本は「スローイン・ファストアウト」です。カーブの途中でブレーキを踏んだり、急にハンドルを切るとスリップする危険があるため、まずカーブの手前でスピードを十分に落とします。そして、カーブの途中ではブレーキは踏まずにそのままの速度で走行し、カーブを曲がり終える少し手前から徐々に加速します。



2. 下り坂ではエンジンプレーキを活用

正解 ×

下り坂では、フットブレーキを使い過ぎると、ブレーキが過熱して「フェード現象」等を起こし、ブレーキが効かなくなる危険があります。したがって、エンジンプレーキを十分に活用して、フットブレーキを使い過ぎないようにします。

3. 急ブレーキは緊急時のみ

正解	<input type="radio"/>
----	-----------------------

危険を避けるためにやむを得ない場合には急ブレーキを踏む必要がありますが、それ以外はブレーキは数回に分けて踏むようにします。このブレーキの踏み方は特に路面が滑りやすい状態でのスリップ防止などに効果的であり、後続車に自車の減速を知らせることもでき追突事故の防止にもつながります。

4. 踏切通過は低速ギアのまま

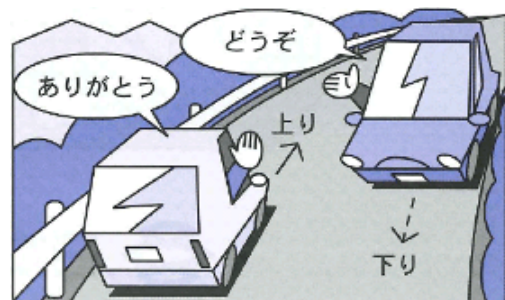
正解	<input type="radio"/>
----	-----------------------

踏切内では、エンストを防止するために発進したときの低速ギアのまま通過し、途中で変速しないようにします。また、歩行者や対向車に注意するとともに、落輪を避けるために、やや中央寄りを通るようにします。なお、踏切の向こう側が混雑している、進入すると踏切内で身動きがとれなくなるおそれがあるときは、踏切に進入してはいけません。

5. 下りの車が停止する

正解	<input checked="" type="checkbox"/>
----	-------------------------------------

坂道では下りより上りのほうが発進が難しいため、停止せずにすれ違えないときは、下りの車が停止して上りの車を先に行かせるのが原則です。ただし、上りの側に待避所がある場合は、上りの車が待避所に入って下りの車の通過を待ちます。なお、片側が崖で（車両）転落のおそれがある場合は、崖側の車が停止して対向車を先に行かせます。



次回は「無事故ドライバーをめざして（2）高速道路の走行」について、今回同様クイズ形式で確認していきます。

(2010年11月作成)